
大和川水系西除川ブロック(東除川等)の 当面の治水目標の設定(流域の概要)について

1. 東除川流域の現状
2. 東除川流域の特性
3. 治水事業の概要
4. 既往の治水計画の概要

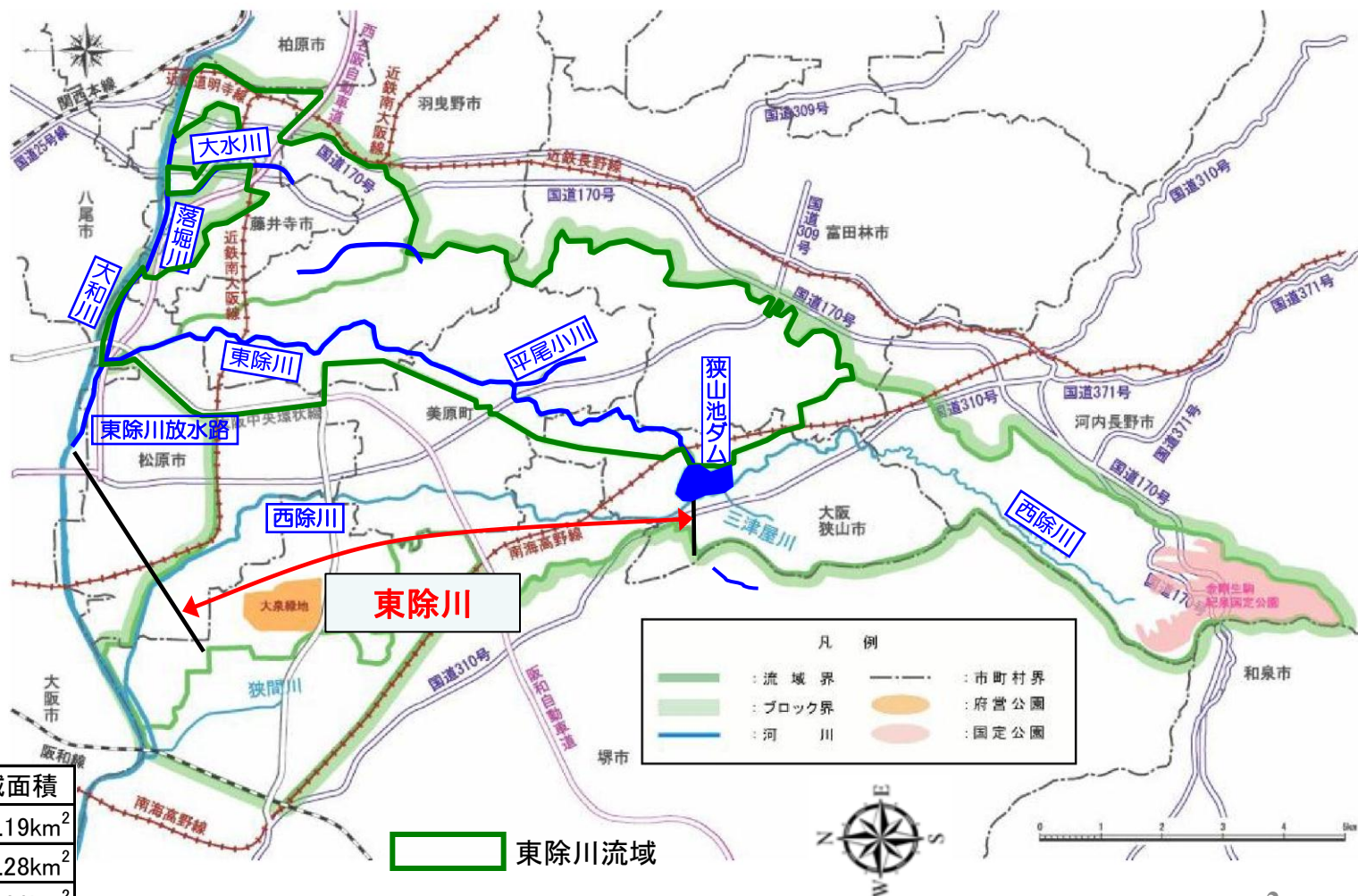
1. 東除川流域の現状

東除川は、狭山池ダムの北東岸を上流端とし、平尾小川と合流、流下し、落堀川と合流後、東除川放水路より大和川左岸に注ぐ一級河川。

指定区間延長は13.7km。流域面積は36.19km²。



東除川位置図



東除川流域図

水系名	河川名	河川延長	流域面積
大和川	東除川	13.7km	36.19km ²
	落堀川	3.7km	10.28km ²
	大水川	2.5km	2.26km ²
	平尾小川	1.7km	1.70km ²

1. 東除川流域の現状

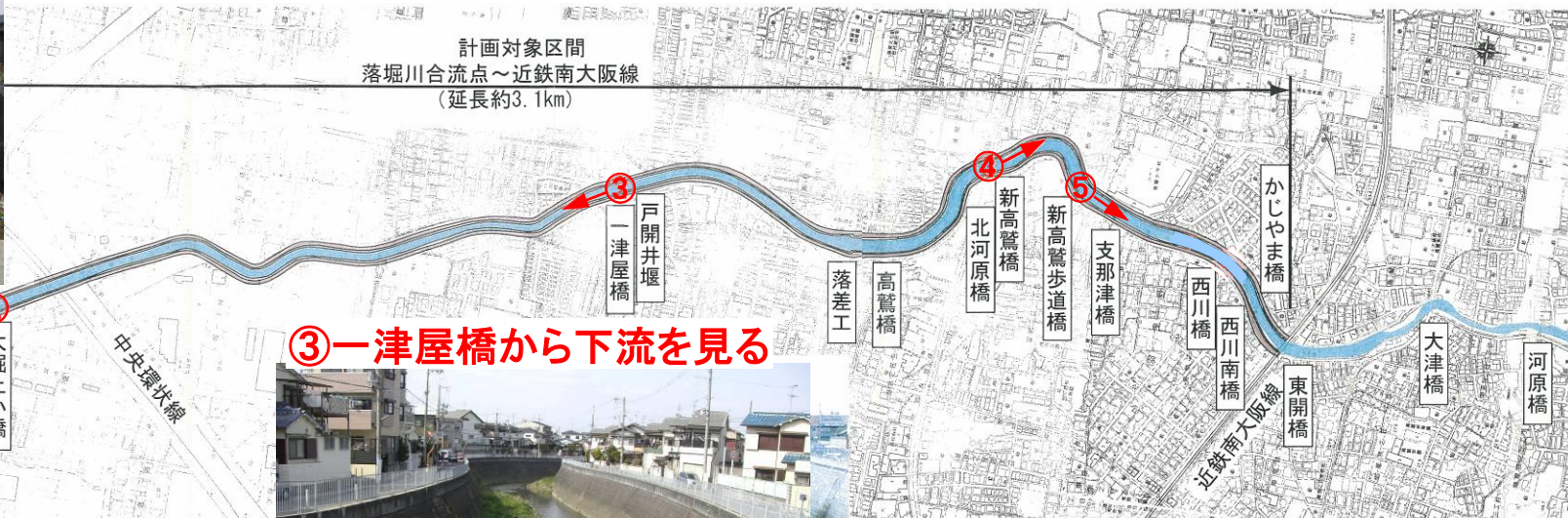


東除川沿川空中写真

●東除川下流部(大和川合流点～近鉄南大阪線)は松原市、羽曳野市の市街地に属し、周辺は宅地が近接し都市化している。



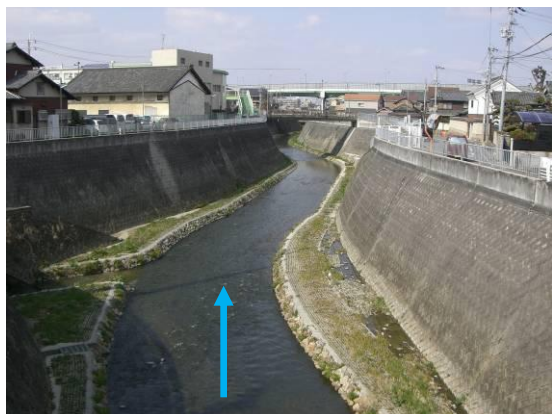
①東除川放水路から上流を見る



③一津屋橋から下流を見る



②大堀小橋から下流を見る



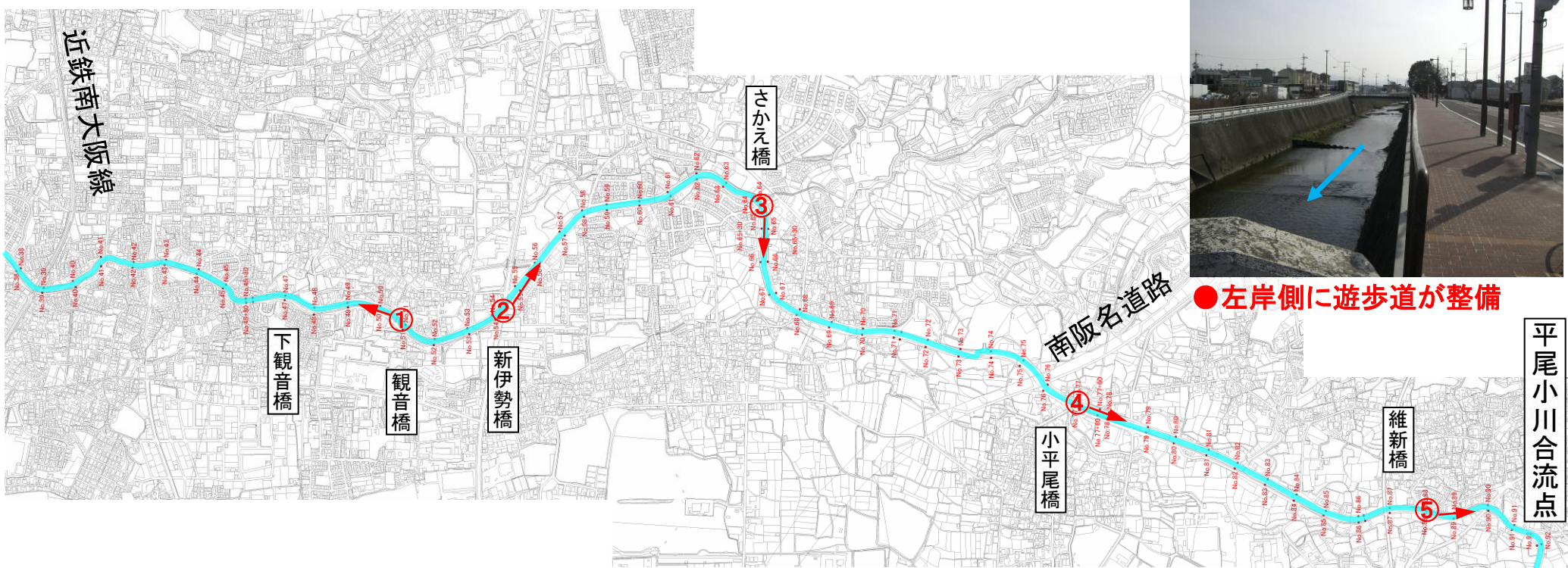
⑤新高鷲歩道橋から上流を見る



④新高鷲橋から上流を見る

●東除川中流部(近鉄南大阪線～平尾小川合流点)は羽曳野市、堺市美原区の市街地に属し、
 周辺は宅地や田畑が密集している。

④小平尾橋から上流を見る



●左岸側に遊歩道が整備

①観音橋から下流を見る

②新伊勢橋から上流を見る

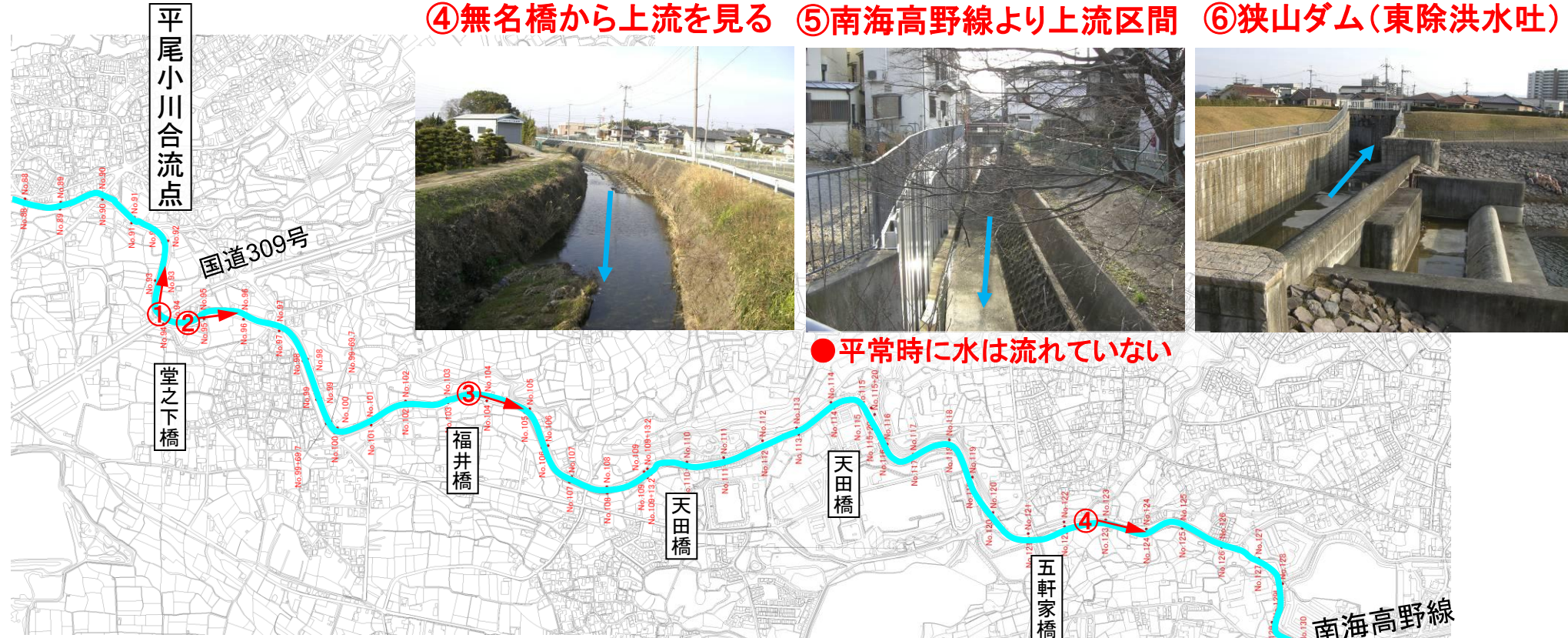
③さかえ橋から上流を見る

⑤維新橋から上流を見る

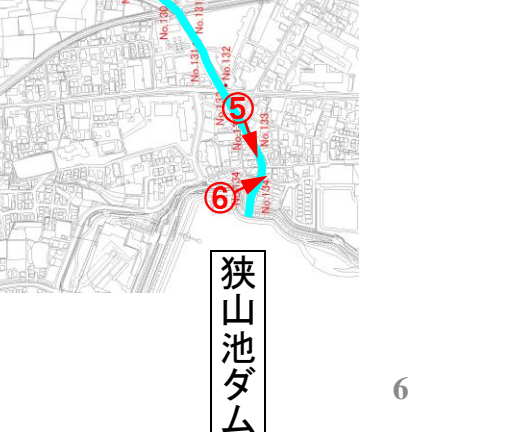


●東除川上流部(平尾小川合流点～狭山池ダム)は河道幅も狭くなり、周辺は宅地のほかに田園や竹林等も広がり自然環境が多く残っている。

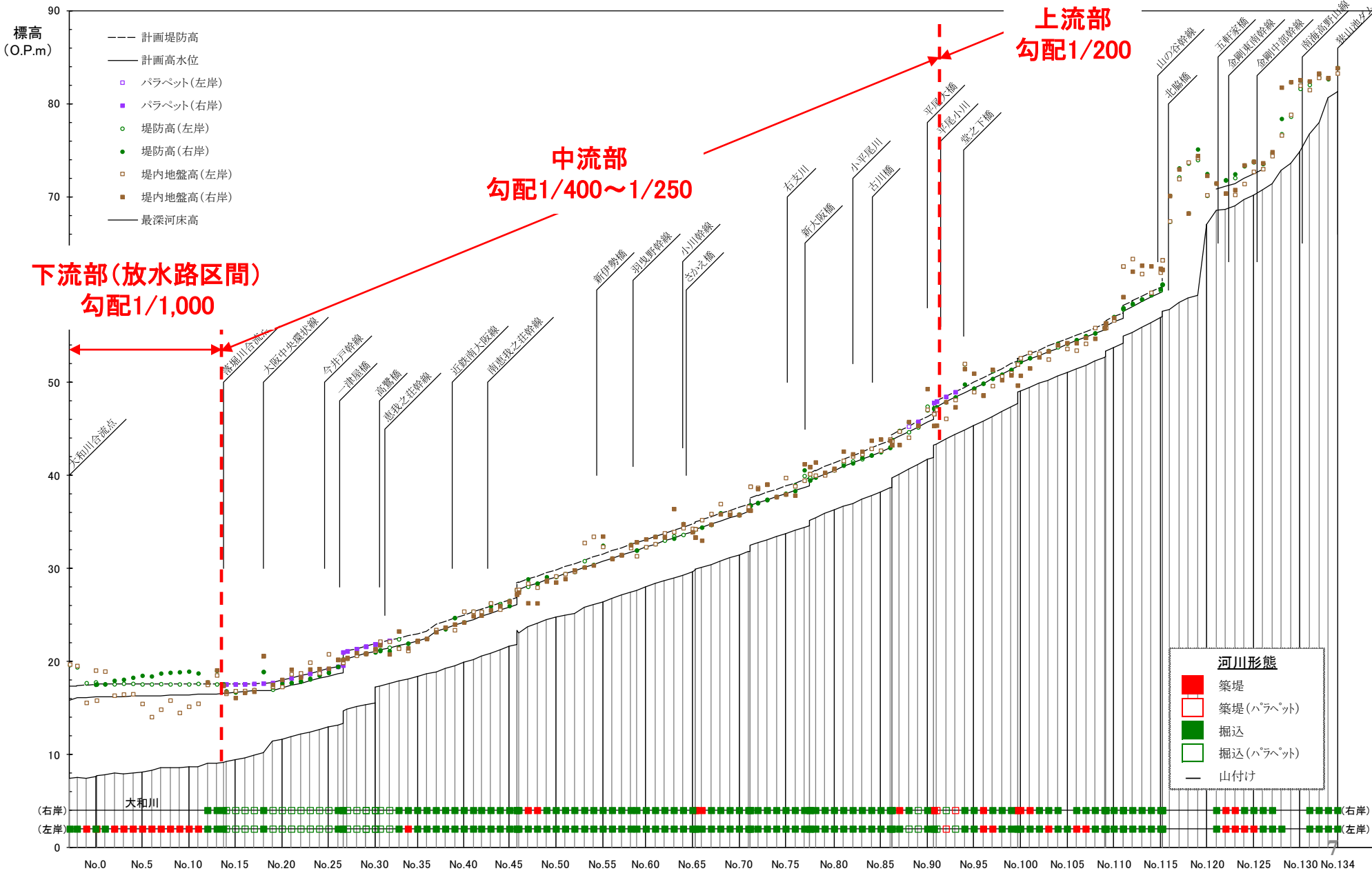
- ④無名橋から上流を見る ⑤南海高野線より上流区間 ⑥狭山ダム(東除洪水吐)



- ①堂之下橋から下流を見る ②堂之下橋から上流を見る ③福井橋から上流を見る



1. 東除川流域の現状



1. 東除川流域の現状

●東除川

- ・昭和59年、大和川合流点～落堀川合流点に放水路(L=1.5km)を通水。
- ・大和川合流点～大阪中央環状線(L=2.1km)までは、80ミリ程度対応済である。



80mm程度対応済み区間の上流端
(大阪中央環状線下流)



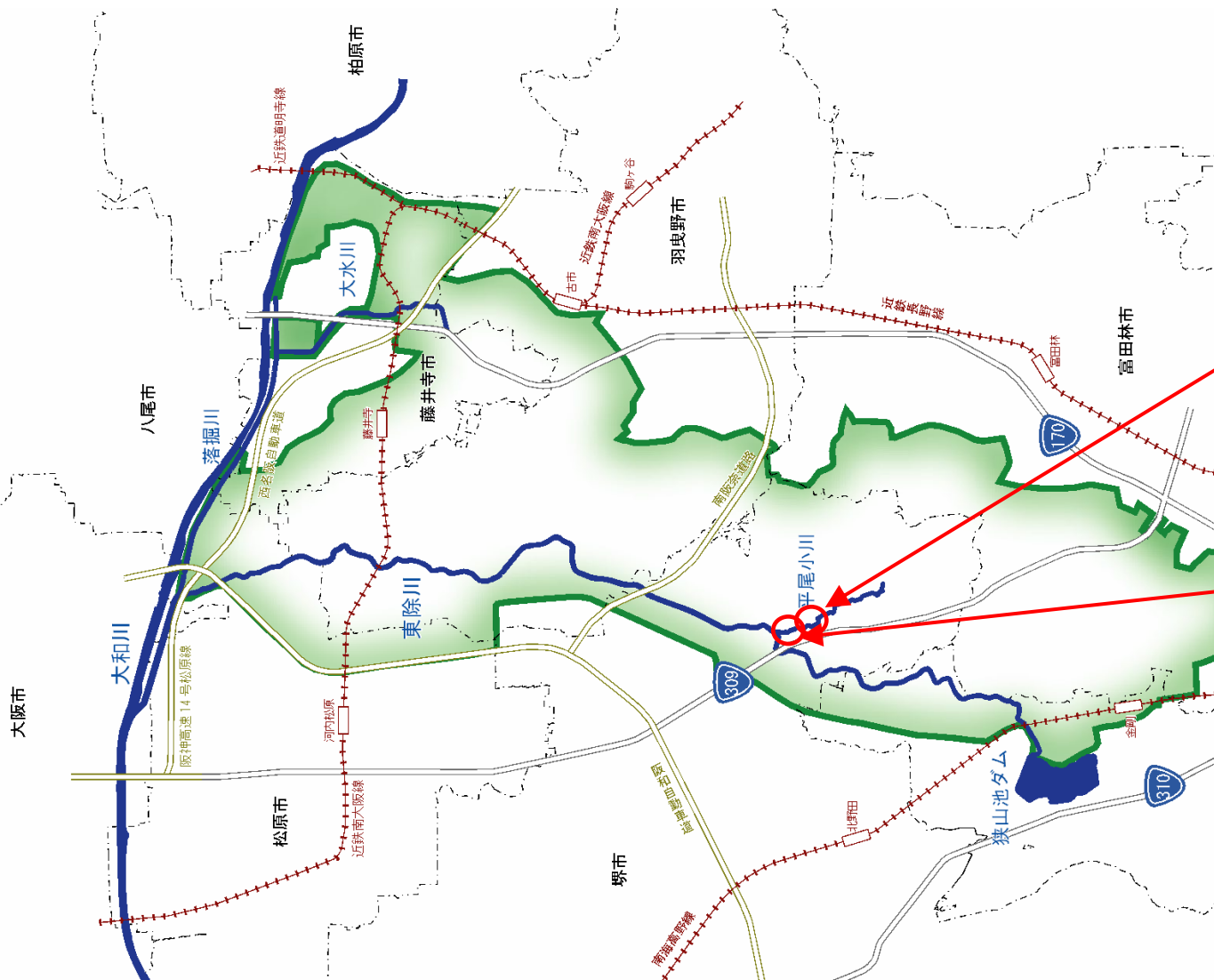
80mm程度対応済みの放水路
(落堀川合流点付近)



1. 東除川流域(支川)の現状

●平尾小川

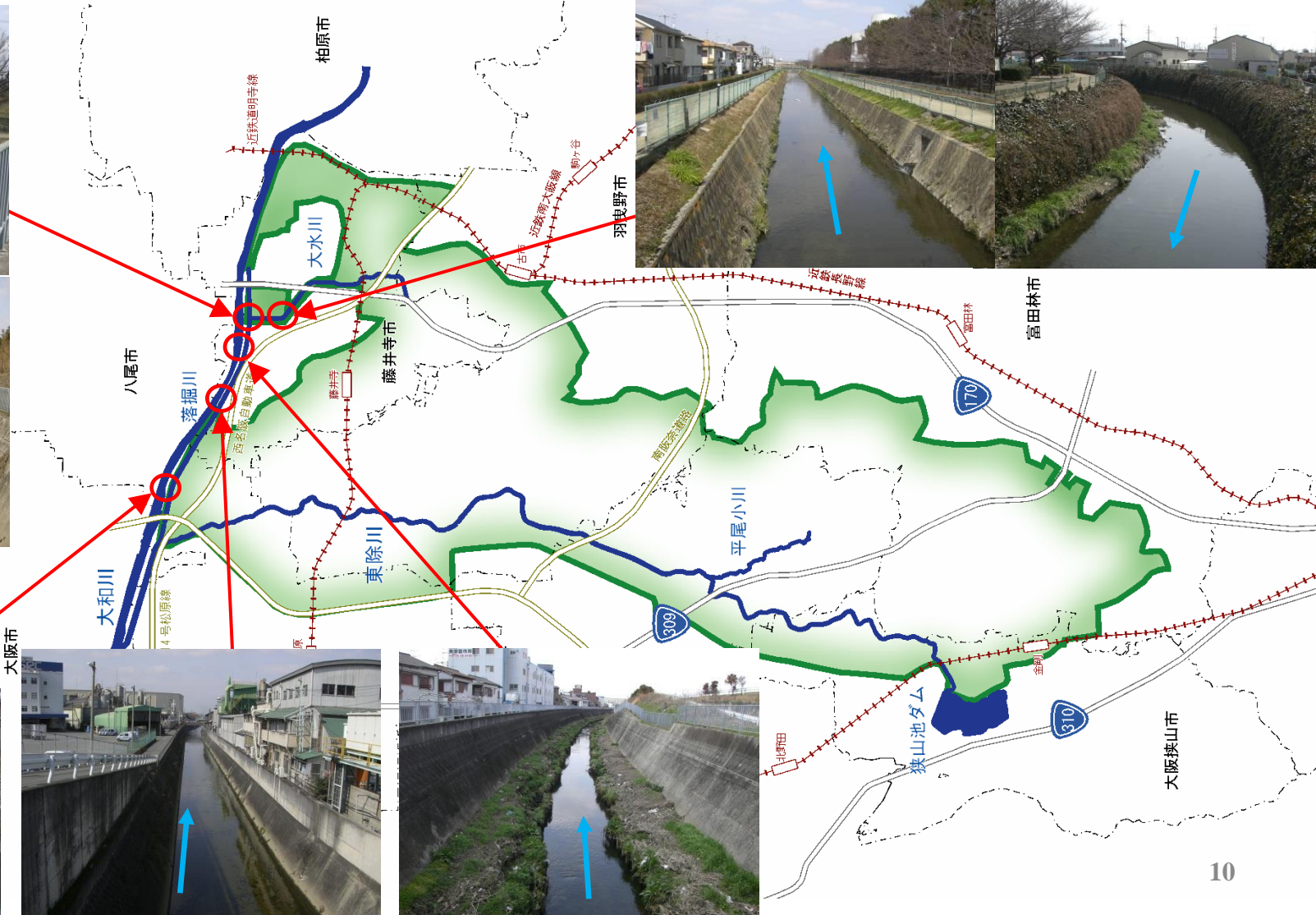
- ・ブロック積み護岸の単断面形状、掘込み河道。東除川合流点付近は宅地が近接しており、それより上流は農地が広がる丘陵地を流れる。



1. 東除川流域(支川)の現状

●落堀川・大水川

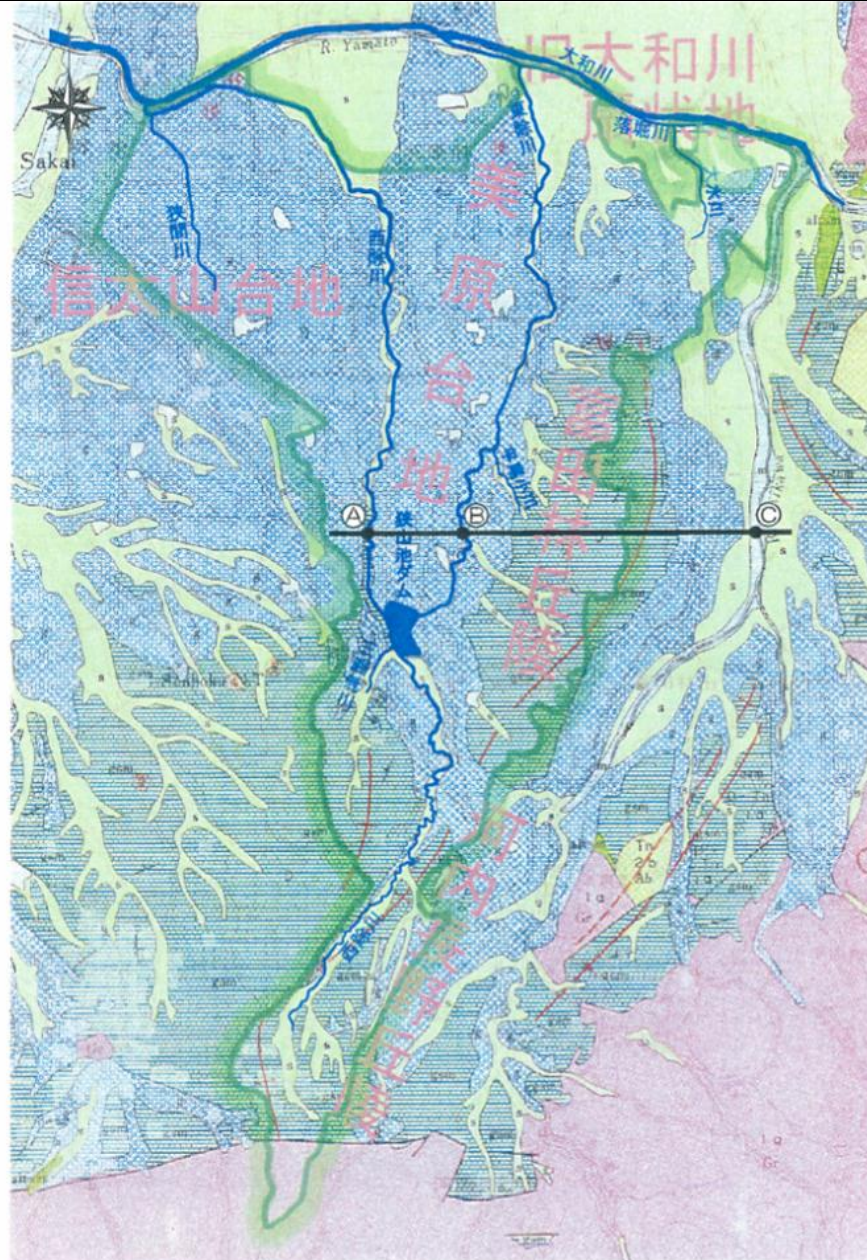
・ブロック積み護岸の単断面形状、掘込み河道であり、下流区間はパラペットが設置済み。河床勾配は1/5,000程度と緩い。周辺には宅地や工場が密集している。



2. 東除川流域の特性

●地形・地質

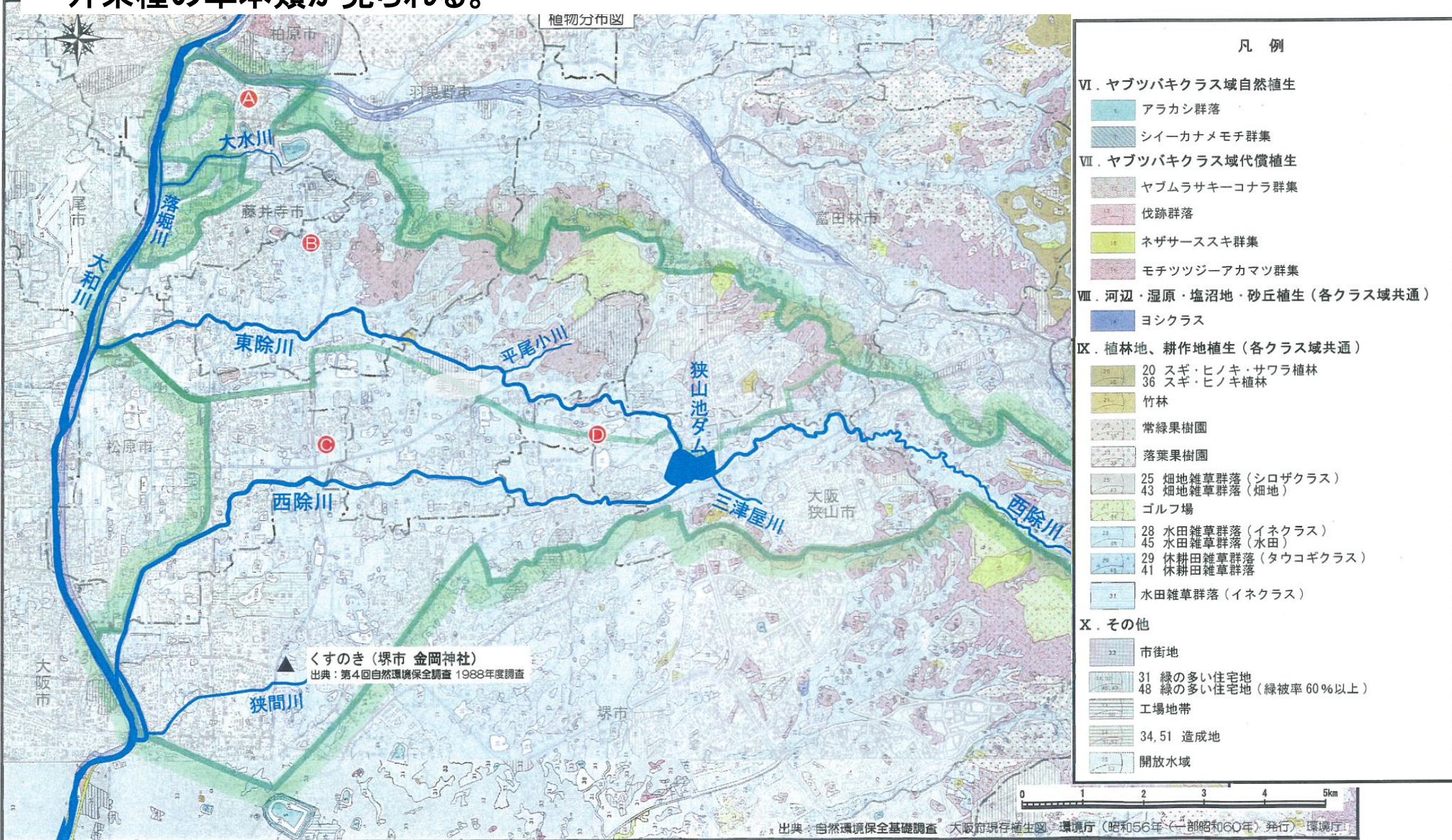
- ・大半は中・低地の段丘からなる南大阪丘陵からなっている。
- ・東除川流域の西側には美原台地が広がり、東側には富田林丘陵が広がっている。
- ・落堀川流域は旧大和川扇状地が広がっている。
- ・表層の地質は、旧大和川扇状地では砂、美原台地では礫、富田林丘陵は泥・砂・礫の互層により構成されている。



凡例	
未固結堆積物	礫
	砂
	泥
	泥、砂、礫互層
固結堆積岩	礫岩
	砂岩
	泥岩
	砂岩、泥岩互層
	珪石質岩石
	輝緑凝灰岩
火山性岩石	流紋岩室岩石
	安山岩質岩石
変成岩類深成岩	花崗岩質岩石
	斑れい岩室岩石
	ミロナイト

●植生

・市街地が進み植生は乏しいが、河道内ではヨシ等の湿生植物やセイタカアワダチソウ等の外来種の草本類が見られる。



●魚類（調査表は次項）

- ・東除川・落堀川では、オイカワやモツゴ等を多数確認。
- ・大阪府レッドデータブックにおいて絶滅危惧Ⅰ類に指定されているゴクラクハゼ、絶滅危惧Ⅱ類に指定されているウキゴリ等を確認。

④ 落堀川(西橋)



モツゴ



マハゼ



ヌマムツ



ゴクラクハゼ
(絶滅危惧Ⅰ類)

⑤ 東除川(新高鷺橋)



メダカ
(絶滅危惧Ⅱ類)



モツゴ

③ 東除川(平尾小川合流点)



モツゴ



コイ

① 東除川(大和川合流前)



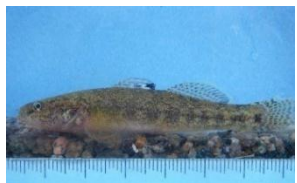
オイカワ



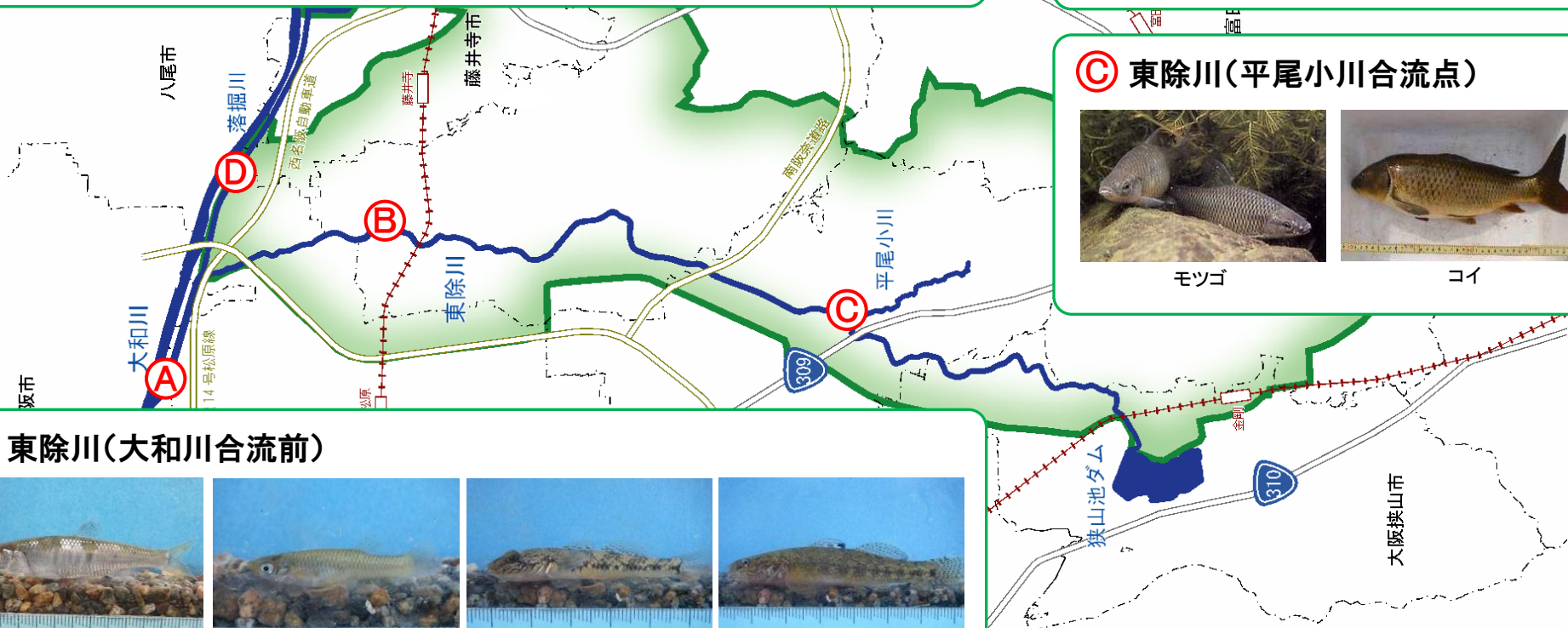
カダヤシ
(特定外来生物)



ゴクラクハゼ
(絶滅危惧Ⅰ類)



ウキゴリ
(絶滅危惧Ⅱ類)



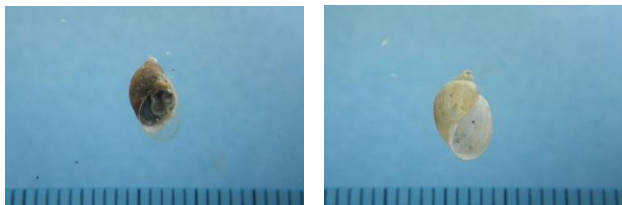
●魚類調査表

No.	目名	科名	種和名	東除川			落堀川		特定種 (大阪府RDによる カテゴリー)		
				2005	2011		2005	2011			
					大和川 合流前	新高鷺橋				平尾小川 合流点	西橋
1	ウナギ目	ウナギ科	ウナギ				●	●			
2	コイ目	コイ科	コイ	●	●	●	●	●			
3			ゲンゴロウブナ						●		
4			ギンブナ		●			●	●		
5			キンギョ		●						
6			オイカワ		●	●	●			●	
7			ヌマムツ							●	
8			モツゴ		●	●	●	●	●		
9			カマツカ			●					要注目
10			タモロコ						●		要注目
11			コウライモロコ			●					要注目
12			ドジョウ科	シマドジョウ					●		要注目
13			ナマズ目	ナマズ科	ナマズ		●				
14	サケ目	アユ科	アユ		●						
15	カダヤシ目	カダヤシ科	カダヤシ		●	●					
16	ダツ目	メダカ科	メダカ	●	●	●	●		絶滅危惧Ⅱ類		
17	スズキ目	サンフィッシュ科	ブルーギル		●				●		
18			オオクチバス		●					●	
19		ボラ科	ボラ		●						
20		ハゼ科	ウキゴリ		●						絶滅危惧Ⅱ類
21			マハゼ		●					●	
22			ゴクラクハゼ		●					●	絶滅危惧Ⅰ類
23			カワヨシノボリ		●						
24			ヌマチチブ		●						●
25		タイワンドジョウ科	カムルチー		●					●	
確認種類				4種	20種	5種	2種	6種	13種	7種	

●底生動物 (調査表は次項)

- ・東除川上流部や落堀川では、大阪府レッドデータブックにおいて準絶滅危惧に指定されているヒメモノアラガイや要注目に指定されているカワニナ、モノアラガイを確認
- ・東除川では、環境省レッドデータブックにおいて準絶滅危惧に指定されているマシジミを確認

④ 落堀川(西橋)



ヒメモノアラガイ
(準絶滅危惧)

モノアラガイ
(要注目)

② 東除川(新高鷲橋)



マシジミ
(環境省:準絶滅危惧)

③ 東除川(平尾小川合流点)



カワニナ
(要注目)

① 東除川(大和川合流前)



サカマキガイ



●底生動物 調査表

No.	目名	科名	種和名	東除川				落堀川			特定種 (大阪府RDによる カテゴリー)
				2005	2011		2005		2011		
				新高鷺橋	大和川 合流前	新高鷺橋	平尾小川 合流点	津堂 落堀橋	大水川 合流点	西橋	
1	三岐腸目	サンカクアタマズムシ科	ナミウズムシ			●				●	
2			アメリカナミウズムシ		●	●		●		●	
3	原始紐舌目	タニシ科	ヒメタニシ				●	●			
4	蟹足目	カワニナ科	カワニナ			●					要注目
5	基眼目	モノアラガイ科	ヒメモノアラガイ							●	準絶滅危惧
6			モノアラガイ				●			●	要注目
7		サカマキガイ科	サカマキガイ		●	●	●	●		●	
8	マルスダレガイ目	シジミ科	マシジミ			●		●			
9			イトミミズ	●				●			
10	イトミミズ目	イトミミズ科	イトミミズ科		●	●	●			●	
11	吻蛭目	グロシフォニ科	ヒラタビル			●		●		●	
12		ウオビル科	ウオビル				●				
13	無吻蛭目	イシビル科	シマイシビル					●	●	●	
14			ナミイシビル					●			
15			ピロウドイシビル		●	●	●			●	
16			イシビル科				●				
17	ヨコエビ目	マミズヨコエビ科	フロリダマミズヨコエビ	●	●	●	●			●	
18	ワラジ目	ミズムシ科	ミズムシ		●	●	●	●	●	●	
19	エビ目	ヌマエビ科	Neocaridina属		●	●				●	
20		テナガエビ科	テナガエビ							●	
21			スジエビ						●	●	
22		アメリカザリガニ科	アメリカザリガニ	●	●	●	●	●		●	
23	カゲロウ目(蜉蝣目)	コカゲロウ科	サホコカゲロウ	●	●	●	●			●	
24			Baetis属				●				
25			トビイロコカゲロウ							●	
26		トビイロカゲロウ科	トゲトビイロカゲロウ							●	
27	トンボ目(蜻蛉目)	イトトンボ科	アオモンイトトンボ	●	●	●	●			●	
28			Ischnura属			●	●				
29			クロイトトンボ					●			
30			ギンヤンマ						●		
31			シオカラトンボ						●		
32		カワトンボ科	ハグロトンボ		●		●				
33		ヤンマ科	ギンヤンマ				●				
34		トンボ科	シオカラトンボ			●					
35	カメムシ目(半翅目)	ミズムシ科	チビミズムシ		●						
36	トビケラ目(毛翅目)	アミメシマトビケラ科	シロフツヤトビケラ				●				
37		シマトビケラ科	ナミコガタシマトビケラ		●	●	●	●		●	
38			ウルマーシマトビケラ				●				
39		ヒメトビケラ科	Hydroptila属			●					
40		コエグリトビケラ科	Apatania属				●				
41	ハエ目(双翅目)	ガガンボ科	Tipula属			●	●	●	●		
42			ヒメガガンボ亜科		●						
43		ユスリカ科	セスジユスリカ	●							
44			Chironomus属		●	●				●	
45			Cricotopus属	●	●	●	●			●	
46			CA エリユスリカ	●				●			
47			Orthocladus属		●	●	●			●	
48			BPB ハモンユスリカ	●							
49			RD レオクコトプス	●				●			
50			Tanytarsus属				●			●	
51			TE ツベテニア					●			
52			モンユスリカ亜科				●				
53			ユスリカ科			●				●	
54		ブユ科	Simulium属		●		●				
55	コウチュウ目(鞘翅目)	ヒラタドトムシ科	Ectopria属				●				
確認種類				11種	19種	23種	32種	18種	8種	25種	3種

出典：一級河川西除川外
河川水辺環境調査
委託報告書
(平成24年2月)
※特定種は大阪府レッド
データブックによる
カテゴリー定義

●鳥類 (調査表は次項)

・河道内には、コサギやアオサギ等がよく見られ、落堀川上流は夏場のサギ類のねぐらとなっている。

・狭山池上流ではカワセミも確認されている。



オオタカ



チョウゲンボウ



アオルリ



キビタキ



ツツドリ



コチドリ



トラフズク



クサシギ



タシギ



シロチドリ



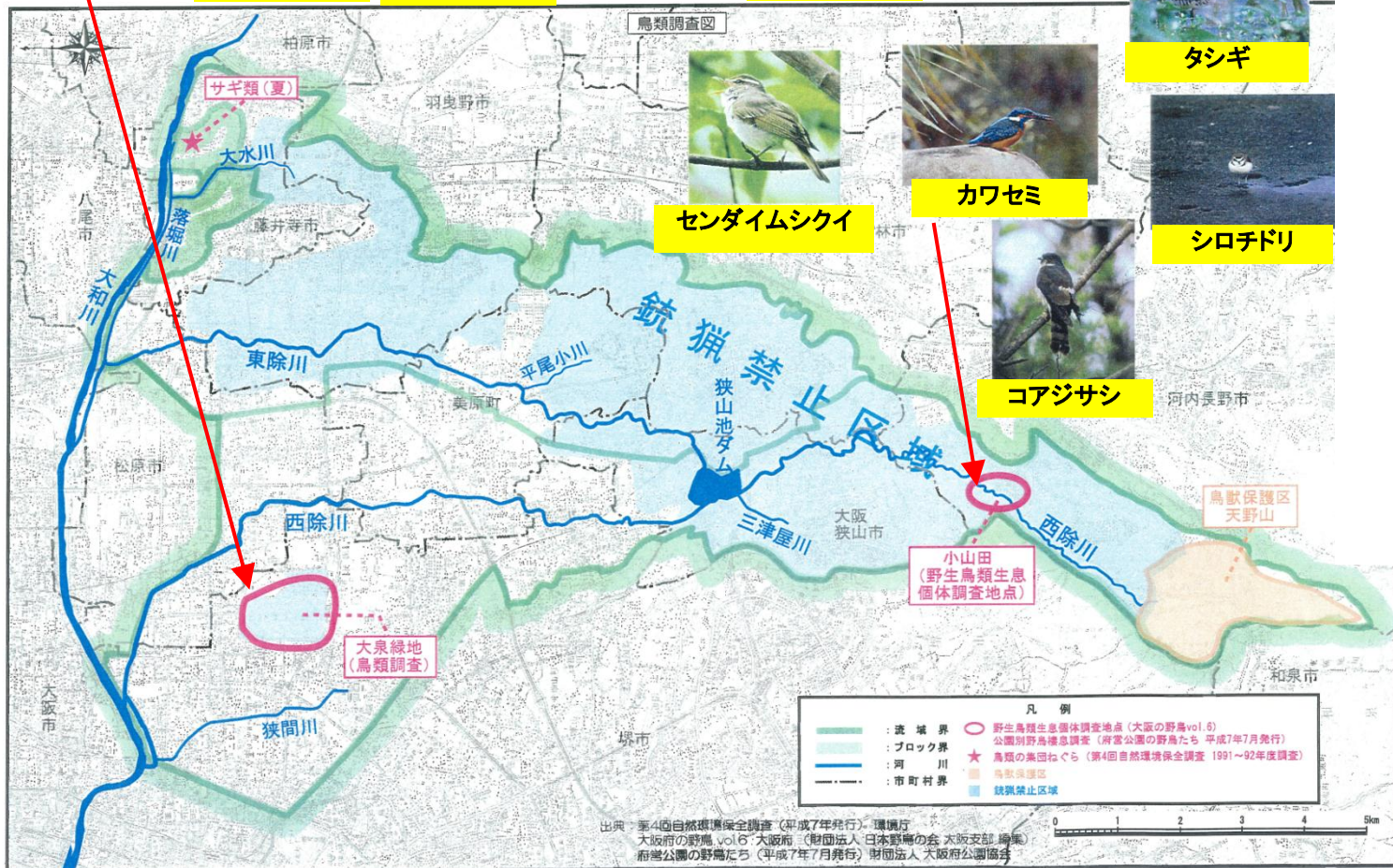
センダイムクイ



カワセミ



コジサシ



写真出典：

●鳥類調査表

種名	小山田		大泉 緑地	特定種 (大阪府RDによ るカテゴリー)
	1976～ 77年	1992～ 93年		
カイツブリ	●		●	
ゴイサギ		●	●	
ダイサギ			●	
コサギ	●	●	●	
アオサギ	●	●	●	
マガモ			●	
カルガモ		●	●	
コガモ		●	●	
ヨシガモ			●	
オカヨシガモ			●	
ヒドリガモ			●	
オナガガモ			●	
ハシビロガモ			●	
ホシハジロ			●	
キンクロハジロ			●	
トビ	●			
オオタカ			●	絶滅危惧Ⅱ類
チョウゲンボウ			●	準絶滅危惧
コジュケイ	●	●	●	
キジ	●	●		
バン			●	
コチドリ			●	絶滅危惧Ⅱ類
シロチドリ			●	絶滅危惧Ⅱ類
クサシギ		●		準絶滅危惧
タンギ			●	準絶滅危惧
ユリカモメ	●		●	

種名	小山田		大泉 緑地	特定種 (大阪府RDによ るカテゴリー)
	1976～ 77年	1992～ 93年		
コアジサシ			●	絶滅危惧Ⅱ類
キジバト	●	●	●	
ツツドリ	●			準絶滅危惧
ホトギス	●			準絶滅危惧
トラフズク			●	絶滅危惧Ⅱ類
カワセミ	●	●	●	準絶滅危惧
コゲラ	●	●	●	
ヒバリ	●		●	
ツバメ	●	●	●	
コシアカツバメ			●	
キセキレイ	●	●	●	
ハクセキレイ	●		●	
セグロセキレイ	●	●	●	
ヒンズイ	●		●	
ヒヨドリ	●	●	●	
モズ	●	●	●	
ヒレンジャク			●	
ルリビタキ			●	
ジョウビタキ	●	●	●	
トラツグミ	●		●	絶滅危惧Ⅱ類
アカハラ	●			
シロハラ	●	●	●	
ツグミ	●	●	●	
ウグイス	●	●	●	
オオヨシキリ			●	準絶滅危惧
メボソムシクイ			●	

種名	小山田		大泉 緑地	特定種 (大阪府RDによ るカテゴリー)
	1976～ 77年	1992～ 93年		
センダイムシクイ	●		●	準絶滅危惧
キクイタダキ	●			
キビタキ			●	準絶滅危惧
オオルリ			●	準絶滅危惧
サメビタキ			●	
エゾビタキ			●	
コサメビタキ			●	情報不足
エナガ		●	●	
シジュウカラ	●	●	●	
メジロ	●	●	●	
ホオジロ	●	●	●	
カシラダカ	●	●	●	
ミヤマホオジロ	●		●	
アオジ	●	●	●	
カワラヒラ	●	●	●	
ベニマシコ		●		
コイカル			●	
イカル	●	●	●	
シメ		●	●	
スズメ	●	●	●	
ムクドリ	●	●	●	
カケス	●			
ハシボソカラス	●	●	●	
ハシブトカラス	●	●	●	
確認種類	41種	34種	67種	17種

出典: 第4回自然環境保全調査(平成7年発行), 環境庁
大阪府の野鳥 vol.6
府営公園の野鳥たち(平成7年7月発行)
大阪府ホームページ-探鳥地紹介 大泉緑地-

●昆虫類

・東除川下流部および落堀川、大水川においてアメリカジガバチ、東除川中下流付近でハッチョウトンボ、狭山池ダム周辺でギンイチモンジセセリが確認されている。



ナニワトンボ



アメリカジガバチ



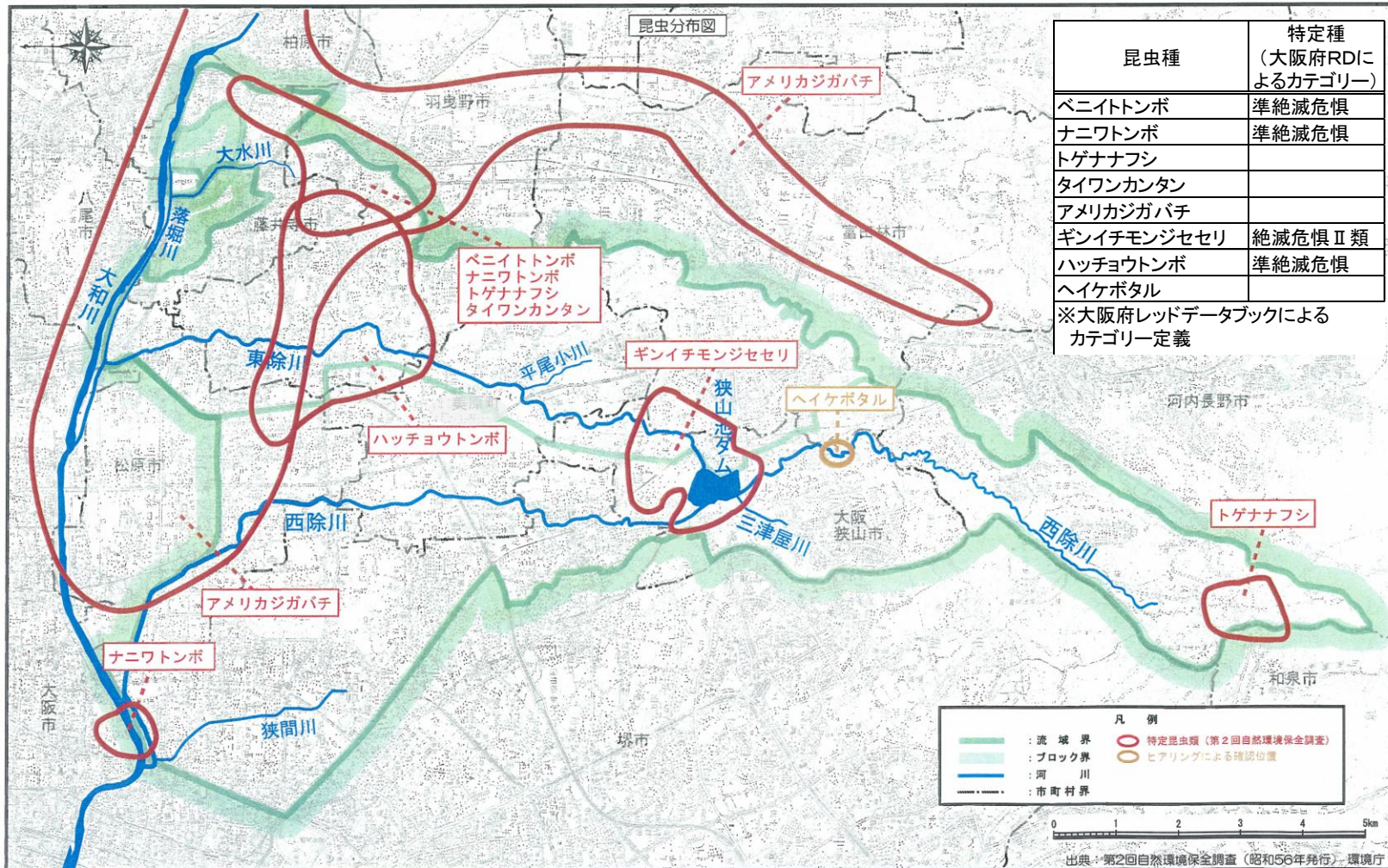
ハッチョウトンボ



ベニイトンボ



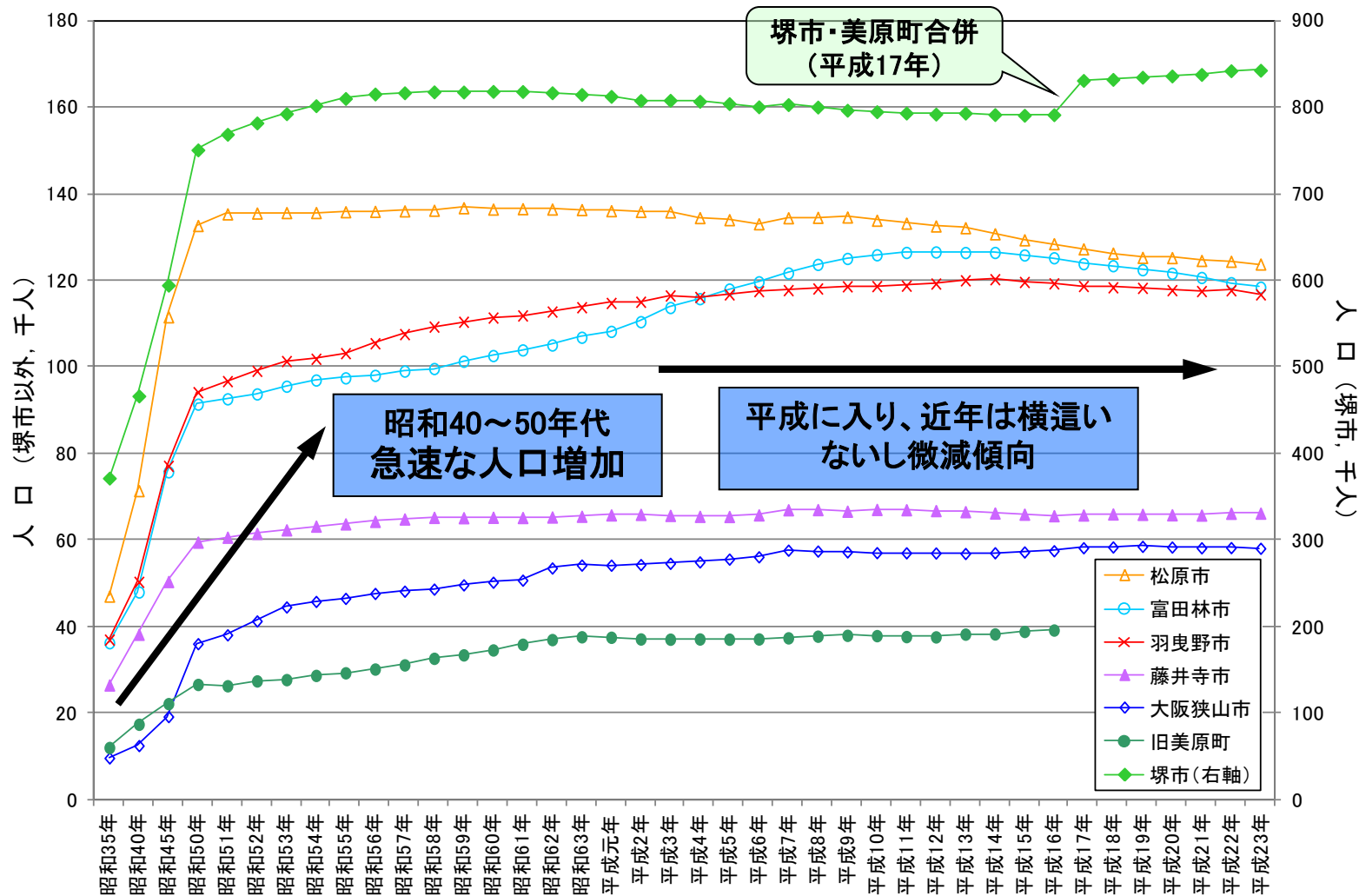
ギンイチモンジセセリ



2. 東除川流域の特性

●人口

流域の人口(平成22年国勢調査)は6市で133万人であり、近年は横這い傾向である。



平成23年国勢調査

6市計:133万人
4市が10万人超

堺市 842,685人

松原市 123,766人

富田林市 118,418人

羽曳野市 116,754人

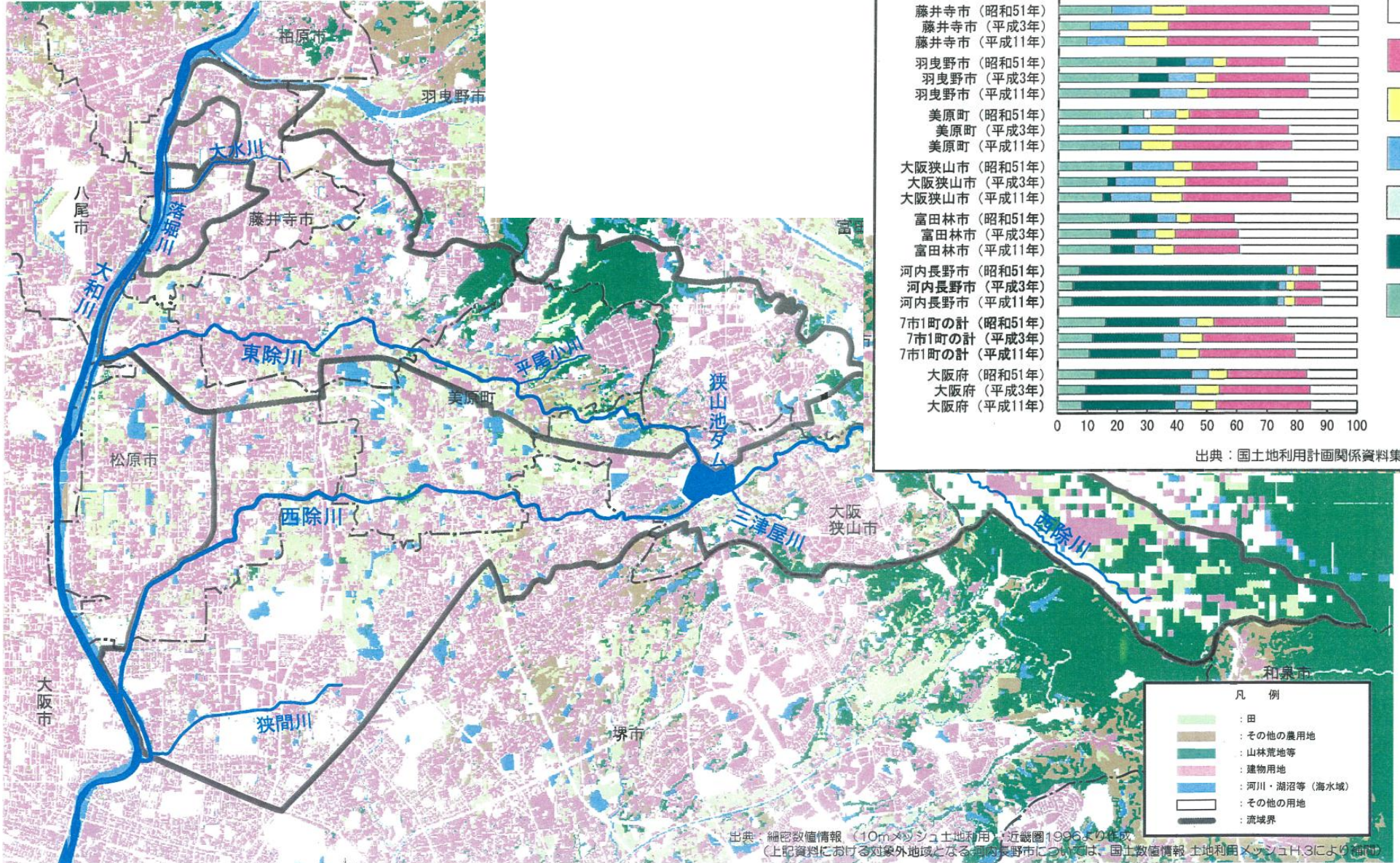
藤井寺市 66,209人

大阪狭山市 58,083人

●土地利用

- ・中・下流部では宅地が大きな割合を占めている。
- ・平尾小川合流点より上流部では農用地が多くなっている。

現況土地利用図



土地利用の変化

市町村名 (年)	農用地 (%)	森林 (%)	原野 (%)	水面河川水路 (%)	道路 (%)	宅地 (%)	その他 (%)
堺市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
堺市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
堺市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
松原市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
松原市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
松原市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
藤井寺市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
藤井寺市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
藤井寺市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
羽曳野市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
羽曳野市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
羽曳野市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
美原町 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
美原町 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
美原町 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪狭山市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪狭山市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪狭山市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
富田林市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
富田林市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
富田林市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
河内長野市 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
河内長野市 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
河内長野市 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
7市1町の計 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
7市1町の計 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
7市1町の計 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪府 (昭和51年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪府 (平成3年)	10	5	5	5	5	45	25
大阪府 (平成11年)	10	5	5	5	5	45	25

出典：国土利用計画関係資料集 H13.3

出典：縮尺数値情報 (10m×50m) シュ土地利用、近畿圏1996より作成
 (上記資料における対象外地域となる河内長野市については、国土数値情報 土地利用×マップH.3により補完)

2. 東除川流域の特性

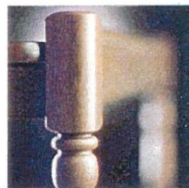
◆ 堺市美原区

◇ 家具・木材

南大阪家具団地の家具業者は、その数約 50 社。暮らしのインテリアに応じた、あらゆるスタイルの家具がここで作られ出荷されています。また、流通経路を通さない産地価格で直接販売も行っています。

一方、美原町南端の木材通地区には木材、木製品の加工を中心とした大阪木材工場団地があります。昭和 59 年（1984 年）には、わが国で最初の木材利用普及研修センターが完成し、組合員の知識の向上、情報の収集に役立っています。

出典：財団法人南大阪地域地場産業振興センターホームページ



◇ 鋳物師

鉄や銅などの金属を溶かして鋳型に流し込み、鋤などの農耕具、鍋・釜などの生活道具から、梵鐘（釣鐘）・仏像にいたるまでの製品を鋳造した技術者が鋳物師（いもじ）です。美原町内では、すでに、8 世紀初頭に黒山から太井地区にかけて、銅を材料とする鋳造工房が営まれました。平安時代末期から室町時代にかけて、大保を中心とする河内国丹南郡は、鋳物師が集まり住んだところで、大保千軒と呼ばれるほどの賑わいを見せ、河内鋳物師が造りだした多彩な作品によって、その高い技術が実証されています。

河内鋳物師が造った金剛輪寺梵鐘（滋賀県秦荘町）

出典：「美原町商工会」ホームページ



◆ 松原市

◇ 真珠製核業

松原の地域産業のひとつに真珠製核業があります。現在製核業者は三宅、別所、大堀地区に分布し市の北東部に位置しております。もともと市内で加工される真珠核は、米国ミシシッピ上流でとれる淡水貝（ドブ貝）を利用した球状の核であり、その工程は淡水貝を荒切り、小切りの工程からサイコロ状に加工、角をおとして砥石等で研磨されながら、荒丸め、仕上げ丸め、艶出しの工程を経て製品の真珠核となります。



出典：「松原商工会議所」ホームページ

◇ 印材業

日本の伝統文化ともいえる「印鑑」は、水牛、象牙等の材料から加工された印材に名前を彫刻することによって完成します。印材の代表的な水牛についてみると、生産量で全国のトップが松原市であり、現在印材製造会社が 13 軒あります。印材の加工技術は、明治の中ごろ、大阪市西成区勝間（こつま）から松原の業者に伝わったといわれています。戦前までは、家族全員が水牛の角をノコギリで切り、ヤスリなどで印材加工を仕上げていました。戦後になって、動力機械が導入されるようになり、加工技術が広まり全国の 8 割を占めるほど印材加工の産業が発達しています。



出典：「松原商工会議所」ホームページ

● 産業

・堺市美原区の家具や松原市の真珠製核業、印材業等が地場産業として栄えており、印材加工の産業は、全国の8割を占めるほど発達している。

2. 東除川流域の特性

●文化財

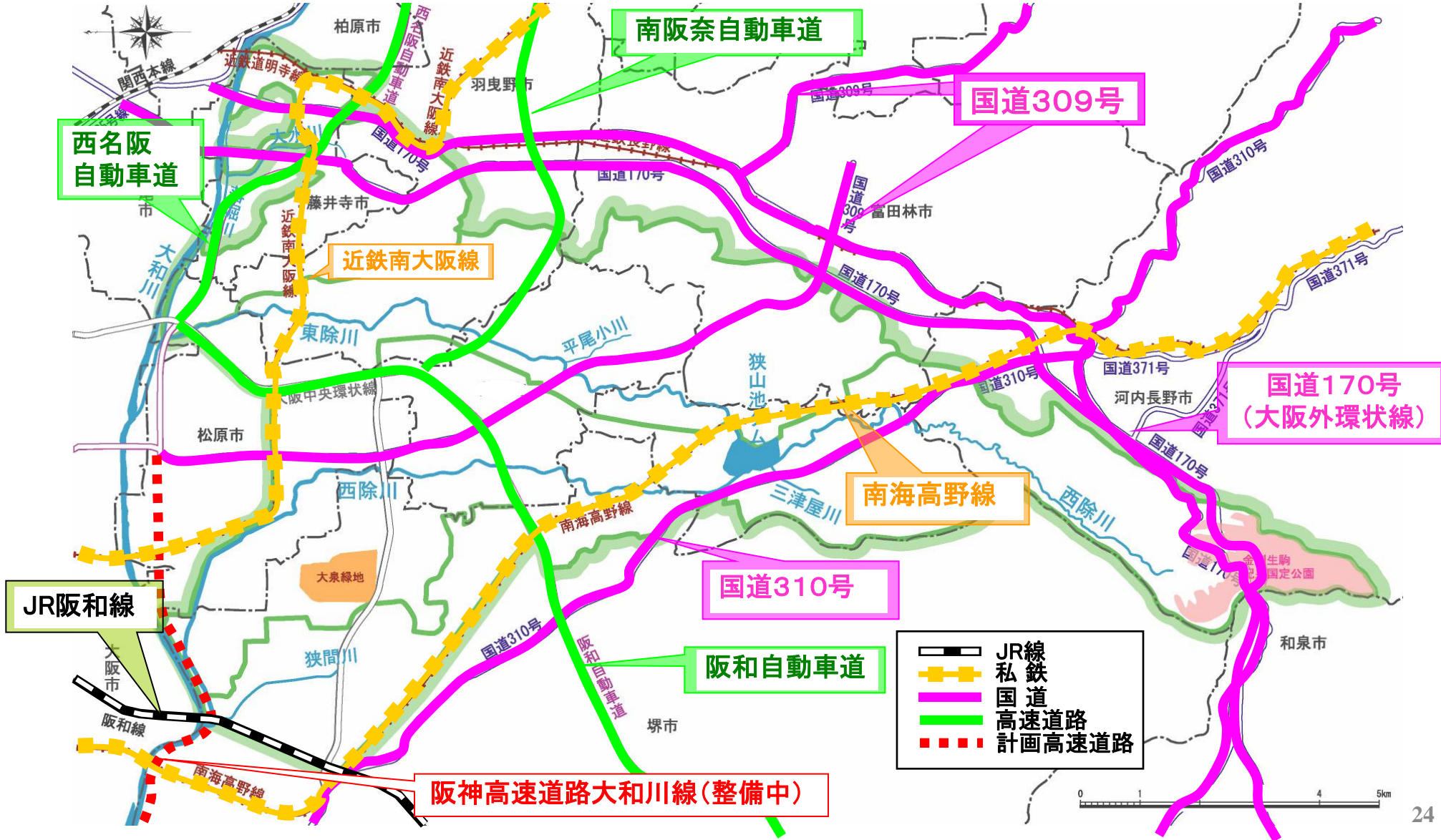
・5～6世紀の大古墳群である古市古墳群(墓山古墳、古室山古墳など)や、聖徳太子建立とされる野中寺など数多くの史跡・重要文化財などが集中している。



2. 東除川流域の特性

●交通

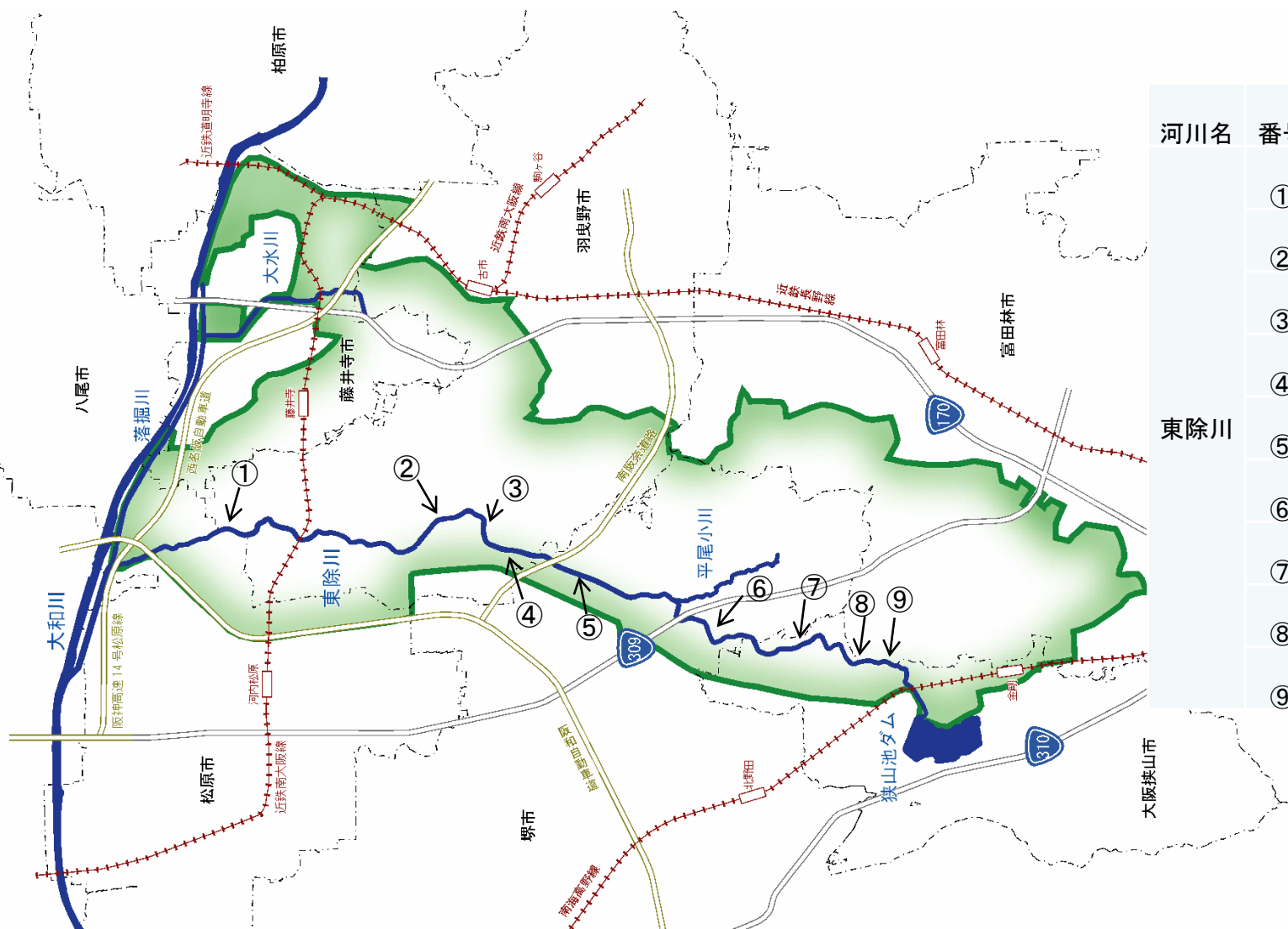
・古くから街道を中心として栄え、現在も鉄道や高速道路などの交通網が発達している。



2. 東除川流域の特性

● 水利用

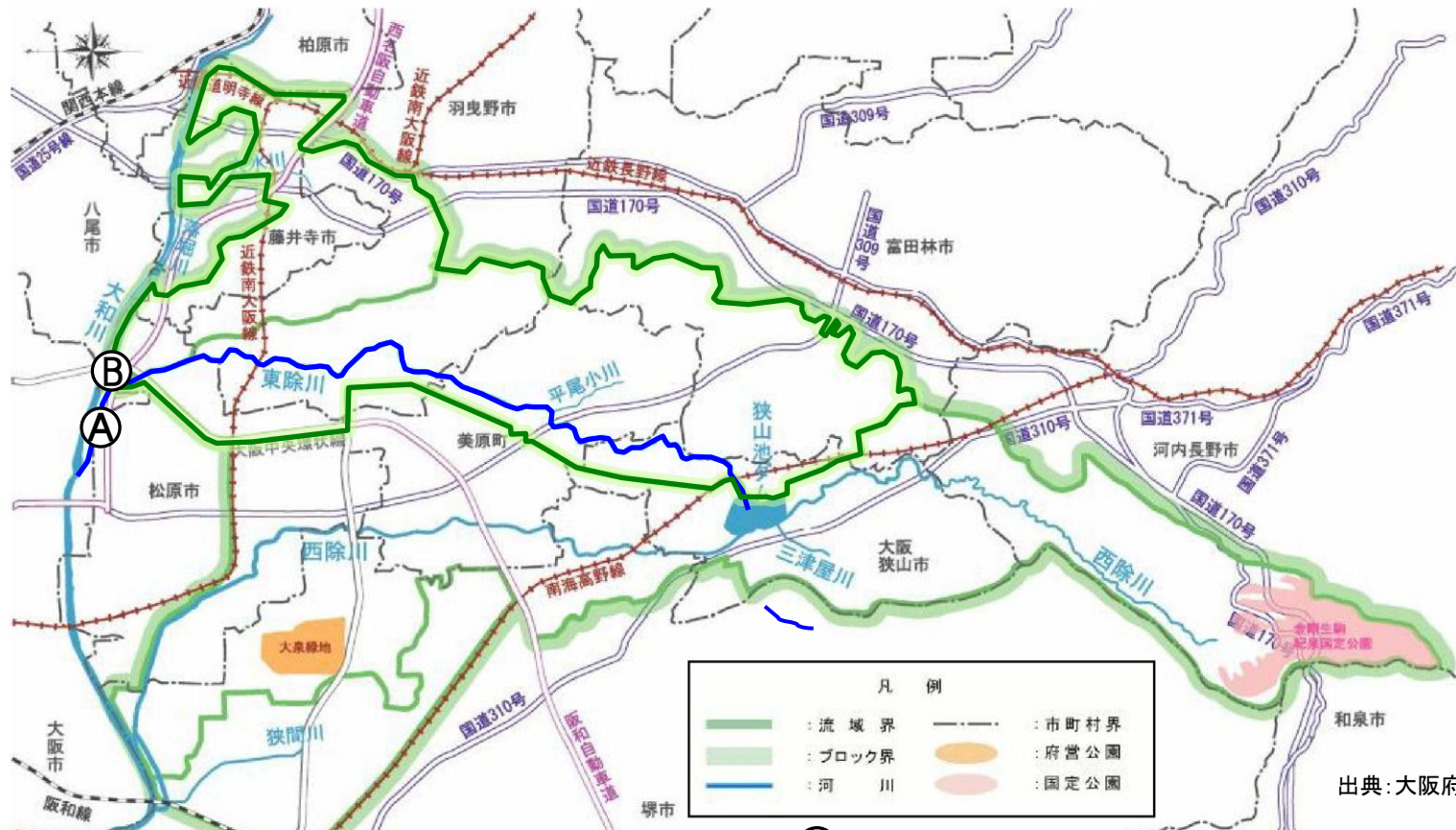
・流域内には多くのため池があり、昔から農業用水源として利用されている。



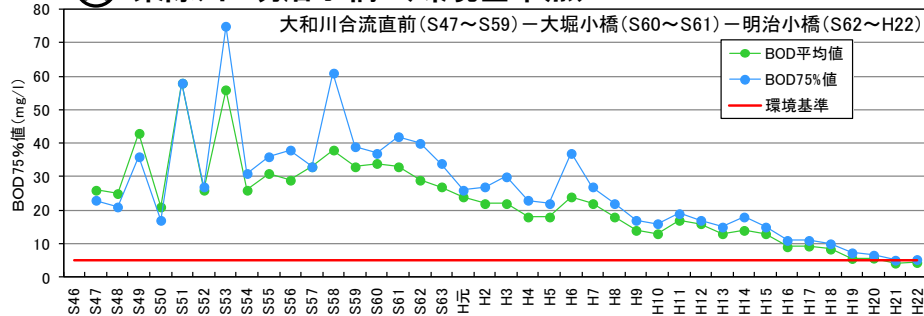
河川名	番号	取水施設名称	取水位置
東除川	①	戸関井堰	右岸
	②	伊勢橋井堰	左岸
	③	古井堰	左岸
	④	河原城原田井堰	右岸
	⑤	多治井井堰	左岸
	⑥	平尾上流井堰	左岸
	⑦	中田井堰	左岸
	⑧	大鳥池井堰	左岸
	⑨	からす井堰	左岸

●水質

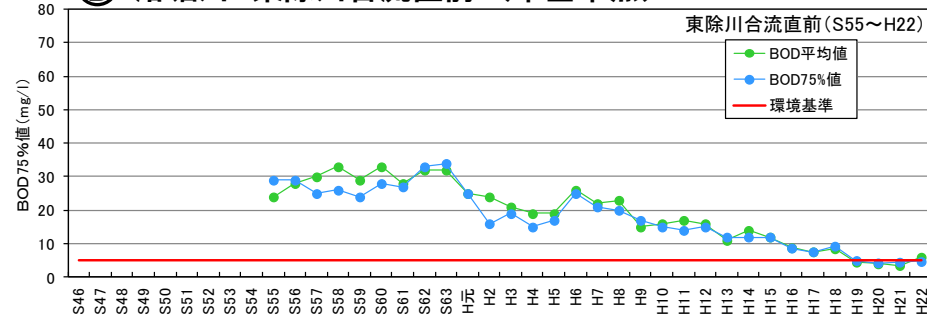
- 東除川の水質汚濁の基準は、全川にわたりC類型(BODの目標値5.0mg/l)に指定されている。平成以降、水質は年々改善傾向にあり、近年では概ね環境基準値程度まで低下している。



① 東除川 明治小橋（環境基準点）



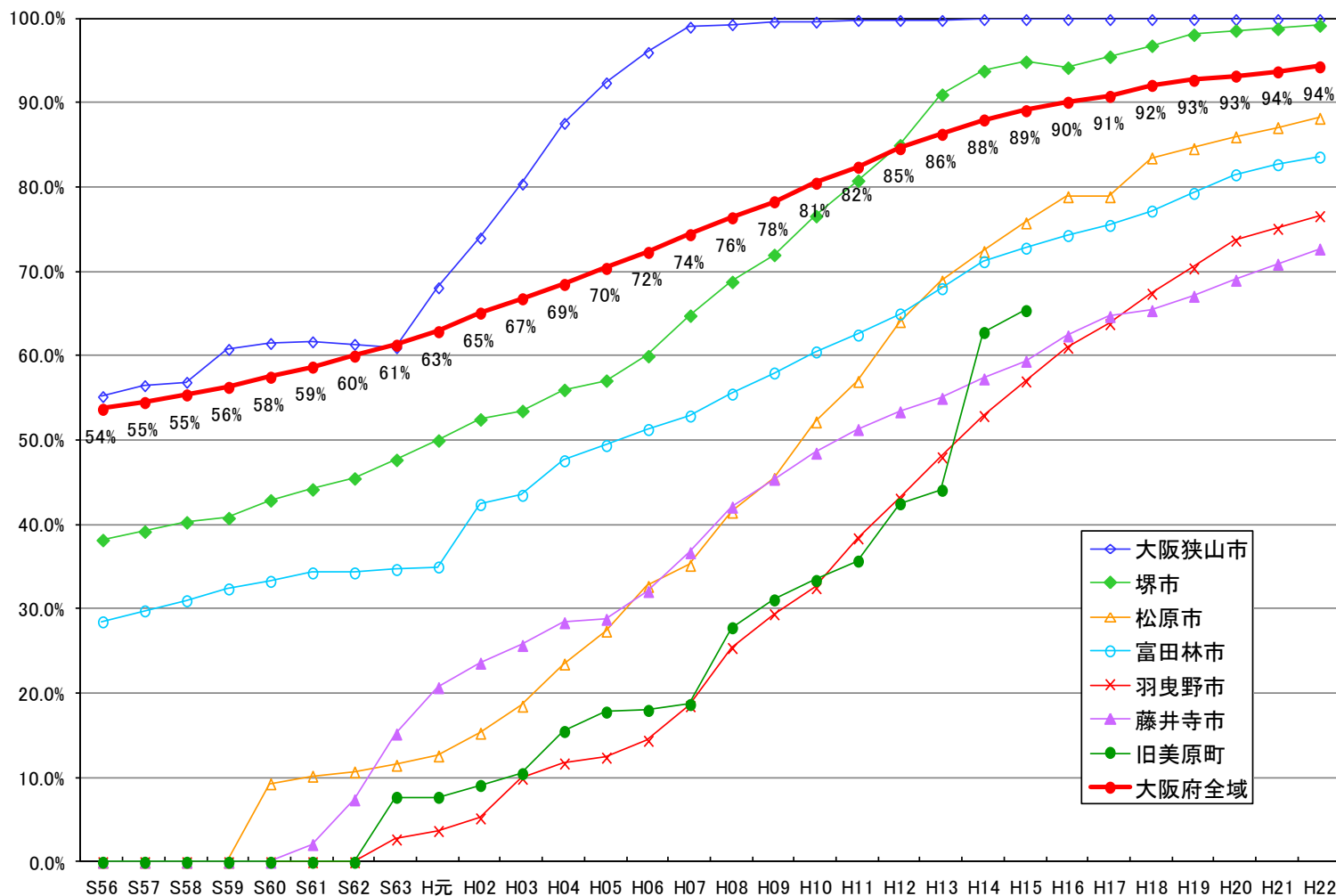
② 落堀川 東除川合流直前（準基準点）



2. 東除川流域の特性

●下水道普及率

・関係6市の下水道普及率は72.7～99.9%であり、堺市と大阪狭山市を除く4市が大阪府全域の下水道普及率94.3%を下回っている(平成22年度末)。



大阪府全域の
下水道普及率
94.3%

関係6市の下水道普及率
(平成22年度末)

大阪狭山市	99.9%
堺市	99.2%
松原市	88.2%
富田林市	83.6%
羽曳野市	76.6%
藤井寺市	72.7%

3. 治水事業の概要

○ 治水事業の沿革

● 昭和39年度 改修事業に着手

● 昭和57年8月の台風10号および低気圧に伴う豪雨により、甚大な被害が発生

※東除川: 床上浸水20戸、床下浸水194戸

落堀川: 床上浸水62戸、床下浸水202戸

大水川: 床上浸水 6戸、床下浸水 74戸

● 昭和58年度 東除川全体計画認可

・昭和59年度 100年に一度程度発生する大雨を安全に流下させる放水路を通水

● 昭和61年度 落堀川全体計画認可

・1時間あたり50mmの降雨に対応した改修、大和川の背水対策を目的とした改修を実施中

● 平成13年 狭山池ダムが完成

● 平成17年5月 大和川水系西除川ブロック河川整備計画を策定

3. 治水事業の概要

●過去の被害状況

昭和57年8月
東除川流域全体で、
床上浸水 88戸
床下浸水 470戸
の被害

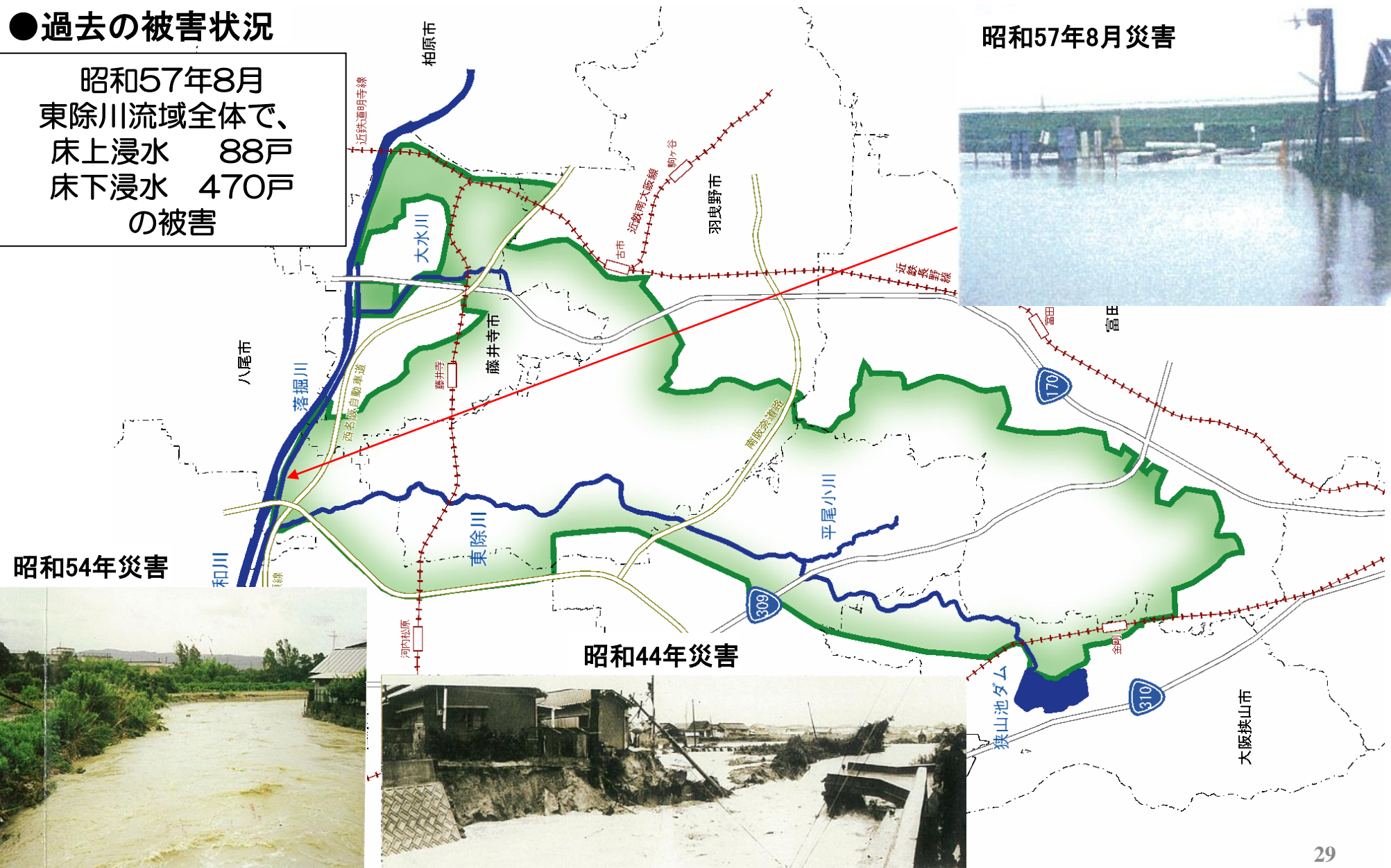
昭和57年8月災害



昭和54年災害



昭和44年災害



4. 既往の治水計画の概要

① 対象降雨量

- ・ 時間雨量 将来計画 (1/100) : 75.8mm
暫定計画 (1/10) : 51.5mm

南河内地区の降雨強度式(「大阪府の計画雨量」平成8年3月)より算出

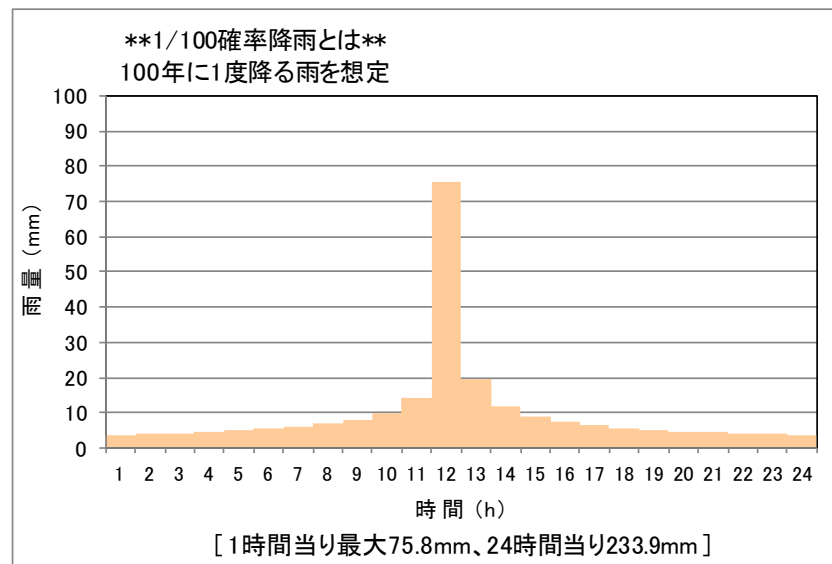
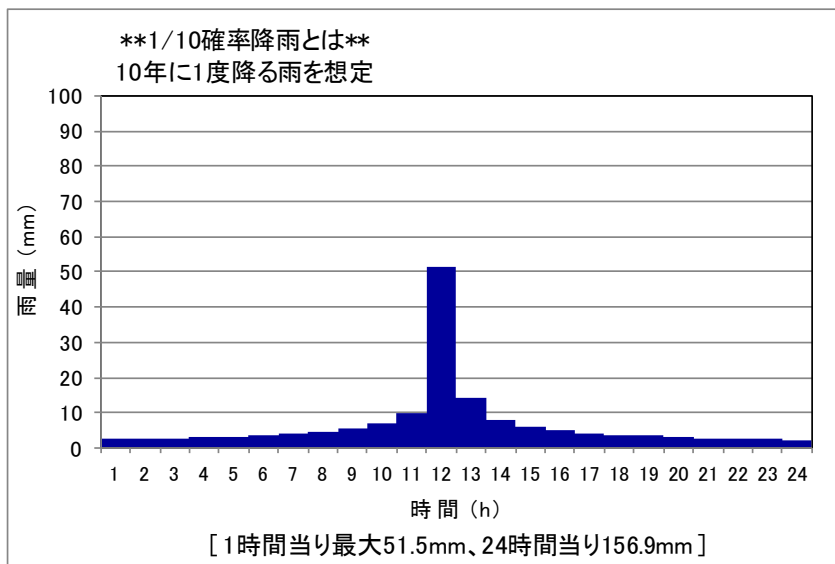
② 対象降雨波形

- ・ 中央集中型モデルハイエト

③ 流出解析手法

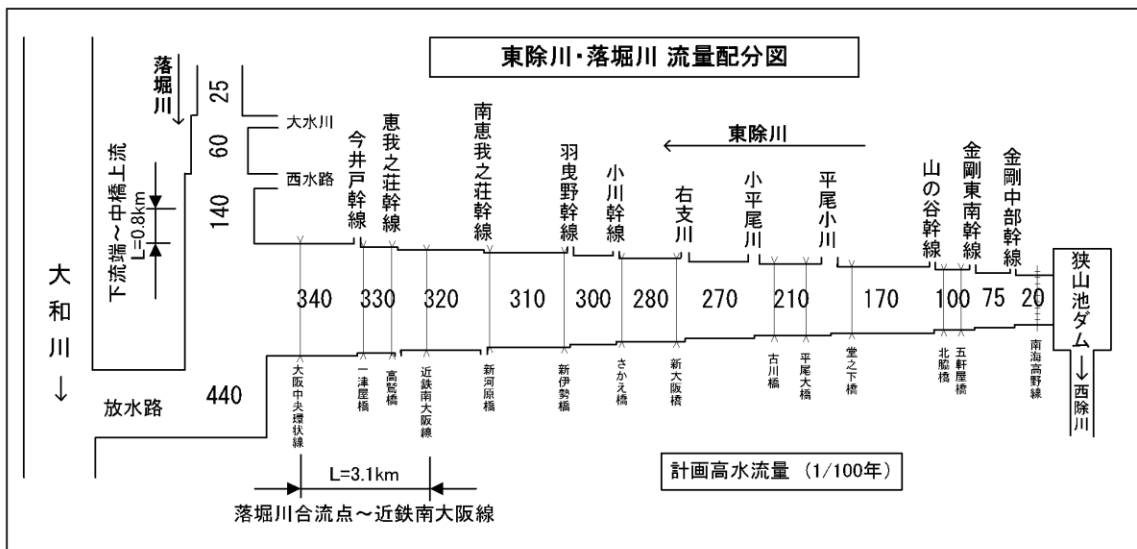
- ・ 合理式法

検討年	平成14年度	
計画諸元	治水安全度	1/100
	基本高水流量	440m ³ /s(大和川合流点)
	比流量	12.2m ³ /s/km ²
	流域面積	36.19km ²
	時間雨量	75.8mm
	洪水到達時間	105.0分
	流出係数	0.79
	算定方法	合理式法

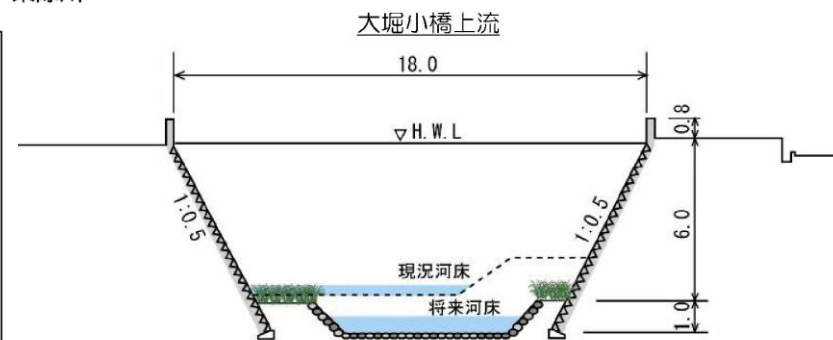


4. 既往の治水計画の概要

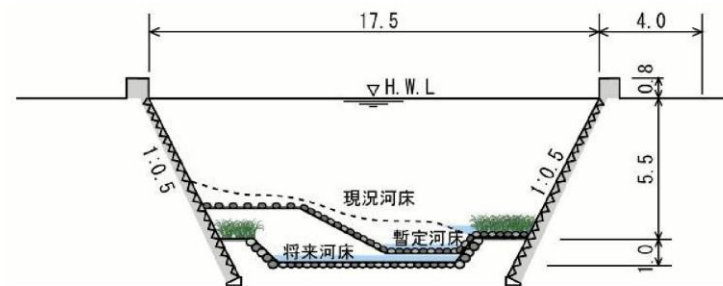
大和川水系西除川ブロック河川整備計画(平成17年4月策定)



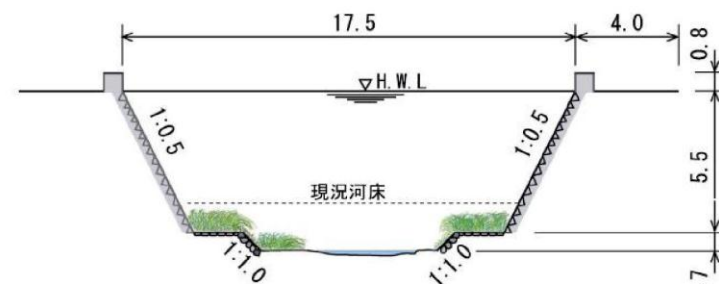
● 東除川



一津屋橋下流



高鷺橋下流



● 落堀川

西橋付近

